

時間外投げ込み

青 保 号 外
令和 8 年 2 月 16 日

報道機関各位

青森県健康医療福祉部保健衛生課長

食中毒の発生について

- 1 概 要
- (1) 令和 8 年 2 月 11 日（水）12 時頃、中南保健所に管内住民から「嘔吐、下痢等の症状があり、2 月 8 日（日）にホテル十和田荘と一緒に宿泊した者 4 名も同様の症状を呈している。」旨の連絡があった。
- (2) 上北保健所による調査の結果、当該患者を含め、2 月 7 日（土）から 2 月 10 日（火）に当該施設を利用した者 146 グループ 423 名中 19 グループ 47 名が嘔吐、下痢、発熱等の症状を呈していることが判明した。
- (3) 上北保健所では、患者の便、調理従事者の便及び施設のふき取りからノロウイルス（GⅡ）が検出されたこと、患者に共通する食品が当該施設が 2 月 7 日（土）夕食から 2 月 11 日（水）朝食として主厨房で調理し提供した食事に限られること、患者の潜伏期間及び臨床症状がノロウイルスによる食中毒と一致していること、医師から食中毒の届出があったことから、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定した。

2 発生年月日 令和 8 年 2 月 8 日（日）

3 喫食者数 調査中

4 患者数 47 名（受診者 29 名 入院なし）※患者は、快復傾向にある。

	計	0～9歳	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
男	23(10)	5(3)	1(1)	1(1)	7(3)	5(1)	2(1)	2(0)	0
女	24(19)	4(4)	1(0)	1(1)	6(5)	5(4)	3(2)	2(1)	2(2)
計	47(29)	9(7)	2(1)	2(2)	13(8)	10(5)	5(3)	4(1)	2(2)

（ ）内に受診者数再掲

5 主な症状 嘔吐、下痢、発熱

6 原因施設

- (1) 施設名 ホテル十和田荘
- (2) 施設所在地 十和田市大字奥瀬字十和田湖畔休屋 340
- (3) 業 種 飲食店営業
- (4) 営 業 者 有限会社十和田荘 代表取締役 中村 秀行

7 原因食品 令和 8 年 2 月 7 日（土）夕食から 2 月 11 日（水）朝食として当該施設の主厨房で調理し提供した食事

8 病因物質 ノロウイルス（GⅡ）（検査機関：青森県衛生研究所、青森市保健所、秋田県健康環境センター）

9 行政対応 令和 8 年 2 月 16 日（月）、上北保健所は、食品衛生法に基づき当該施設の営業者に対し、令和 8 年 2 月 16 日（月）から令和 8 年 2 月 20 日（金）まで 5 日間の営業の停止（主厨房における調理行為の停止）を命じた。

なお、当該施設は、令和 8 年 2 月 14 日（土）から営業（主厨房における調理行為）を自粛している。

報道機関用提供資料 発表 No. 8-2	
担当課・担当者	保健衛生課 食品衛生グループ 担当者 横山副参事
電話番号	内線 6377／6379 直通 017-734-9214
報道監	健康医療福祉部 泉谷次長（内線6202）

<参考>

食中毒発生状況

(令和8年2月16日現在)

				発生件数	患者数
令和	8年1月～令和	8年	2月16日	2件	55名
令和	7年1月～令和	7年	2月16日	2件	16名
令和	7年1月～令和	7年12月末日		4件	72名

令和8年の発生件数、患者数は、本事件を含む。

<県民への呼びかけをお願いします>

ノロウイルス食中毒は、

- ① ウイルスが蓄積した二枚貝を生や加熱不足のまま食べた場合
 - ② ウイルスに感染した人が用便後などによく手を洗わず調理し、二次汚染された食品を食べた場合
- に発生すると言われています。

また、ウイルスに感染した人の嘔吐物等の処理が不十分だと、その場所からウイルスが広がり、直接人の口から取り込まれて感染する場合があります。

ノロウイルス食中毒を予防するためには、

- 調理前、トイレの後、介護等で汚物を処理した後は、必ずよく手を洗いましょう。
汚れの残りやすいところ（指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首）は、ていねいに洗いましょう。
- 盛りつけ等で直接食品に触れる際は、使い捨て手袋を使用し二次汚染を防ぎましょう。
- ノロウイルスの汚染が疑われる食材を調理する場合は、十分に加熱（中心温度85～90℃、90秒間以上）しましょう。
- 調理する人は体調管理に努め、体調が悪いときは調理に従事することを控えましょう。
- 調理器具からの二次汚染に気をつけましょう。
- 嘔吐物、糞便等は、嘔吐物等が乾燥してウイルスが拡散することのないよう速やかに1,000ppmの次亜塩素酸ナトリウムを使って消毒しましょう。

<本県でのノロウイルス食中毒発生状況>

		事件数	患者数	青森市発生状況	八戸市発生状況
平成30年	1件	76名			
平成31年	2件	77名		(1件 3名)	
令和2年	2件	46名		(1件 10名)	
令和3年	1件	10名		(1件 9名)	
令和4年	1件	9名			(1件 4名)
令和5年	1件	18名			
令和6年	1件	59名			
令和7年	2件	16名		(1件 26名)	(3件 26名)
令和8年	2件	55名	(本件を含む)	(1件 7名)	

※青森市分及び八戸市分は別計上